

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日十回發行)

縣報 第七十三號

明治三十五年四月六日 和歌山縣

○公文

和歌山縣令第四十一號
森林法施行手續左之通相定ム

和歌山縣知事 椿 葉 一 郎

明治三十五年四月一日

森林法施行手續

第一章 總 則

第一條 本規定ニ依リ知事ニ差出スヘキ申請書又ハ願書ハ所轄郡市町村長ヲ經由スヘシ

郡市町村長ニ於テ前項ノ申請書又ハ願書ヲ受理シタルハ調査ノ上毎件意見ヲ副申シ町
村長ハ七日以内ニ郡長ニ進達シ郡市長ハ七日以内ニ知事ニ進達スヘシ若期日內進達シ難
キトキハ其事由ヲ具申スヘシ

第二條 郡市町村其他組合團體ノ申請書又ハ願書ニハ其會議ノ決議錄原本ヲ添付スヘシ

第三條 社寺ノ申請又ハ願書ニハ神社ニ在テハ神職及氏子(信徒)總代寺院ニ在テハ住職及檀
信徒總代佛堂ニ在テハ受持住職及信徒總代通者シ且寺院ノ出願ニハ其所屬宗派管長ノ添
書ヲ付スヘシ

前項ノ進達ヲ爲スヘキ當該者ヲキトキハ之ニ代ルヘキ者ニ於テ其手續ヲ爲スヘシ

縣報第七十三號 明治三十五年四月六日 第三種郵便物認可

第四條 他ノ所有者ニ係ル森林ノ開墾又ハ保安林施業ヲナサントスル願書ニハ開墾者又ハ施
業者及其所有者又ハ管理者之ニ連署スヘシ

第五條 郡市長ニ於テ森林法第三條乃至第五條第七條第二十一條乃至第二十四條及第五十
五條ノ執行ヲ必要ト認ムルトキハ其事實ヲ知事ニ具申スヘシ

第二章 森林開墾

第六條 森林法第六條ニヨリ森林開墾ノ許可ヲ受ケントスル者ハ一箇所(土地臺帳ノ一筆
ヲ一箇所トス)
毎ニ別紙ニ調製シ第一號様式ニ依リ願出スヘシ

市町村長ニ於テ前項ノ願書ヲ受理シタルハ其箇所ノ所在、地籍、地目、地番、面積及
其所有者ヲ土地臺帳ニ照查シ符合シタルトキハ「臺帳照合済」ト朱記認印シ且實地ニ付キ
圖面并ニ開墾調査ノ事項及第八條ニ抵觸ノ有無ヲ調査スヘシ

郡長ニ於テ開墾願書ヲ受理シタルトキハ尙前項ノ土地臺帳照查事項ヲ所轄稅務署ニ就キ
照查シ符合シタルトキハ「稅務署照查済」ト朱記認印スヘシ

第七條 森林開墾ヲ出願シタルトキハ直チニ其出願地ノ界点ニ標柱ヲ建設シ之ニ開墾出願
地ト記シ且一面ニ出願者ノ氏名ヲ掲クヘシ

第八條 左ニ列記スル箇所ハ開墾ヲ爲スコトヲ許サス

- 一 土砂瀆崩流出ノ防備ニ必要ナル箇所
- 二 飛砂ノ防備ニ必要ナル箇所

三 水害風害潮害ノ防備ニ必要ナル箇所
 四 類雪壓石ノ危險ヲ防止スルニ必要ナル箇所
 五 水源ノ涵養ニ必要ナル箇所
 六 魚附ニ必要ナル箇所
 七 航行ノ目標ニ必要ナル箇所
 八 公衆ノ衛生ニ必要ナル箇所
 九 社寺名所又ハ舊跡ノ風致ニ必要ナル箇所

第三章 保安林ノ編入及解除

第九條 保安林ノ編入又ハ解除ハ第二號若クハ第三號様式ニ依リ申請スヘシ
 前項編入申請書ノ所在地、所有者及畵帳面積并ニ地價ハ第六條第二項及第三項ノ照査ヲ爲スヘシ

第十條 前條ニ依リ保安林編入ノ申請アリタルトキハ當廳ニ於テ保安林調査ヲ行ヒ編入調査ヲ調製ス

森林法施行細則第六條但書ノ施業法要領ハ前項ノ調査中保安林編入後ニ於ケル營林保護其他必要ナル制限事項并ニ造林及地盤保護工事ノ種類方法ヲ指定シタルモノトス

第十一條 保安林ニ編入シタル箇所ニシテ左ノ各號ノ事項ニ異動ヲ生シタルトキハ市町村長ハ速ニ知事ニ報告スヘシ

一 地籍 二 地目 三 地番 四 土地畵帳面積 五 所有者

第四章 保安林ノ施業

第十二條 保安林ニ於テ木竹伐採下草落葉ノ採取又ハ竹根ノ採掘ヲ爲サントスルモノハ知事ノ許可ヲ受クヘシ

第十三條 森林法第二十條及前條ノ許可ヲ受ケントスルモノハ第四號乃至第七號ノ様式ニ依リ願出ツヘシ但本規定第十六條ノ許可ヲ受ケタルモノハ其施業案ニ依リ施業ニ限リ願出ヲ要セス

第十四條 保安林ノ施業方法ハ左ノ各號ニ依ルヘシ
 但特別ノ指定アル事項并ニ手入間伐木、被害木、危險木及支障木ノ採伐ニハ本條ヲ適用セス

一 一箇所(編入地ノ一筆ヲ一箇所トス)毎ニ施業ヲ爲スヘシ
 但保安林ノ種類同一ニシテ所有者全一ナルカ若クハ所有者異ナルモ各所有者合意ニテ同一事業ヲ爲サントスル場合ニ於テ保安上ノ目的ヲ害セスト認ムルトキハ二箇所以上ノ保安林ヲ併合セテ一施業ヲ爲スコトヲ得

二 伐採ハ擇伐法ニ依リ樹種及地勢ヲ參酌シテ点狀、群狀若クハ列狀法ヲ用ユヘシ

三 毎年ノ擇伐區域ハ輪伐輪ヲ以テ立本地全面積ヲ除シタル商ノ三倍ヨリ小ナルコトヲ得ス

四 毎年ノ擇伐面積(採伐スヘキ立木ノ占領面積)ハ輪伐輪ヲ以テ立本地全面積ヲ除シタル商ヲ越ユルコトヲ得ス若シ施業上必要ニシテ保安ノ目的ヲ害セサルトキハ全面積ノ

三分ノ一ヲ超ユキル範圍ニ於テ五年以内ノ隔年作業ヲ行フコトヲ得
群狀採伐及列狀採伐ニ在リテハ伐採面積ヲ數箇所ニ分割シ一箇所ノ面積ハ可成狹小
ナラシムヘシ

五輪伐輪ハ左ノ標準ニ依ルヘシ

矮林 十年以上

喬林 三十年以上

竹林 三年以上

中林 上木ハ三十年以上下木ハ十年以上

第十五條 保安林ニ於ケル土石、切芝ノ採取及樹竹根ノ採掘ハ過度ノ傾斜地ニ於テ爲スコ
トヲ許サズ

切芝ハ水半狀ニ採取シ且其幅ハ一尺以内トシ幅二尺以上ノ間隔ヲ保テシムヘシ

第六章 保安林施業案ノ編成

第十六條 保安林ノ施業ハ第十四條及第十五條ニ定ムル制限ニ從ヒ保安林ニ編入後二年以
内ニ第八號様式ニ依リ豫メ其施業案ヲ編成シ知事ノ許可ヲ受ケヘシ

但森林法第三十條ニ依リ保安林ハ調査ノ上施業法要領ヲ通達ス其通達ヲ受ケタル後二年
以内ニ施業案ヲ編ス成ヘシ

第十七條 左ノ保安林ハ知事ノ認可ヲ受ケ其施業案ノ編成ヲ省略スルコトヲ得
一面積五町步未滿ノ喬林及面積二十町步未滿ノ矮林并ニ中林

二平均林齡未ダ輪伐輪ノ半ニ達セザル森林

三未立木地カ全面積ノ過半ナル森林

四經濟上未ダ施業ヲ行フ時期ニ達セザル森林

五土砂杆止風致等ニ必要ニシテ當分施業スヘキ見込ナキ森林

六竹林

第十八條 保安林施業案ハ其編成ノ時ヨリ十年以内ニ於テ改定又ハ訂正スヘカラス但天災
其他特別ノ事由生シタル場合ニ於テ其施業カ保安ノ目的ヲ損スル虞アルトキハ其事由ヲ

具シ改訂案ノ許可ヲ受ケヘシ

第十九條 保安林施業案ハ十年毎ニ改定シ更ニ許可ヲ受ケヘシ但シ尙用ニ耐ユルト認メ引
續キ施用セントスルトキハ其事由ヲ具シ願出スヘシ

第六章 森林警察

第二十條 森林法第三十一條及同施行規則第十條ニ依リ代木造材又ハ木材賣買營業者ニ於
テ作業地營業地ノ所轄警察署ニ差出スヘキ届書ハ第九號様式ニ依リ記載シ記號ノ形狀并

ニ印影ヲ彙編ナル用紙ニ認メ二通ヲ添付スヘシ

第二十一條 前條ノ届出ヲ爲シタル後作業地若クハ營業地ヲ變更シ又ハ廢業シタルトキ又
ハ相續改氏名ヲ爲シタルトキ及即號印章ヲ變更シタルトキハ三日以内ニ作業地營業地ノ

警察官署ニ届出ヘシ其管轄ヲ異ニスルトキハ所轄署毎ニ届出ヲ要ス

第二十二條 森林又ハ森林ニ接續スル地ノ火入ニ關シテハ森林法及全施行規則ニ依ルノ外

民有原野火入取掃規則ヲ適用ス

第二十三條 郡市町村吏員ニ於テ森林法第二十六條ノ報告ヲ受ケタルトキハ直テニ最寄警
察官吏及森林官吏ニ通報シ且知事ニ報告スヘシ

第七章 罰 則

第二十四條 第十二條及第十五條第二項ニ違背セタル者ハ二圓以上十圓以下ノ罰金ニ處ス
但伐木ヲ爲シタル者ハ森林法ノ罰條ニ從フ

第二十五條 第二十一條ニ違背セタル者ハ五拾錢以上ノ料料ニ處ス

(第一號樣式ノ一)

森林開墾願

市町村 大字	地 字	地 目	面 積	開 墾 面 積	目 的	所 有 者
何 村	何 々	山林	何反何畝何歩 内 何反何畝何歩 何年何月	何反何畝何歩	田(畑)那村 畑(開墾許可) 宅地(其他)	何 某

右今般開墾致度候開墾許可相成度別紙調書及圖面相添此段相願候也

年 月 日

何郡何市何町村大字何番地

(連署ヲ要スルモノニアリテハ此ニ連署スヘシ)

縣知事宛

縣報第七十三號 明治三十五年四月六日 第三種郵便物認可

(第一號樣式ノ二)

開墾調書

何郡市何町村大字何

何 某 印

傾 斜 西北(平均何度)平均勾配何割何分等但區別シ其差甚シカラサルモノハ平均ノ
傾斜度又ハ勾配ヲ記スヘシ

土 性 填土、填質壤土砂質壤土砂土等ノ別ヲ記スヘシ

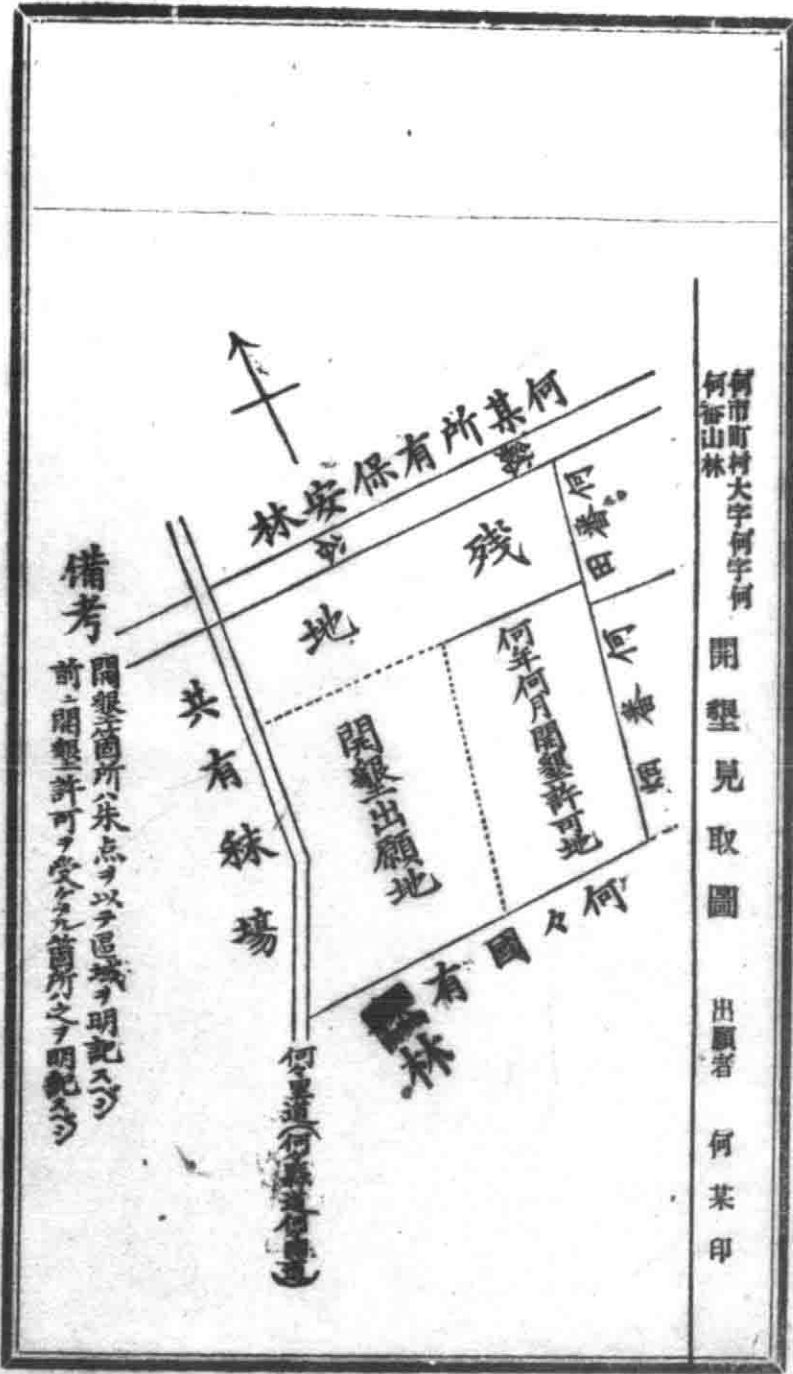
境 界 南ハ何々國有林ニ連リ東ハ耕地北ハ谷ヲ隔テ、何々保安林ニ界シ西ハ里道(

縣道、國道)ヲ隔テ、共有林場ニ隣接ス等四至ノ境界ヲ簡明ニ記載スヘシ

地 河川溜池其他水流及鑿谷ノ距離 何川支川ノ上流何澤左(右)岸又ハ何池何鑿谷ヲ距ル何町何間水面ヨリノ高サ
凡ソ何間等ヲ記スヘシ

林 林木種 アカマツ二分、ウララロ一分、何其他雜木七分等樹種及十分率混淆部合ヲ記
スヘシ

相 林 齡 何年乃至何年等老幼ノ差甚シキモノハ其樹齡ノ範圍ヲ記シ其差甚シカラサル
モノハ平均林齡ヲ記スヘシ



備考
開墾法箇所ハ朱点ヲ以テ區域ヲ明記ス
前ニ開墾許可ヲ受ケテ先箇所之ヲ明記ス

(第一號様式ノ三)

昭統第七十三號 明治三十五年四月六日 第三種郵便物認可

疎密	林齡ニ應ジ相當ノ閉鎖度ヲ想定シテ疎中密ノ三級ニ區分シ記載スヘシ
慣行施業	從來伐木ノ慣行又ハ秣肥草等ノ採取ニ關スル慣習ヲ記スヘシ
開墾方法	普通 田畑宅地等ニ開墾スル外道路ヲ開墾シ溝渠ヲ穿テ溜池ヲ設ケル等著シク地盤ヲ畑藝セントスル場合其他特ニ工事ヲ要スルトキハ其設計ヲ詳記スヘシ
事業期間	開墾許可ノ日ヨリ何ヶ月又ハ何日間
備考	北殘地何畝何歩西開墾着手何畝何歩(又ハ全面積開墾)

(第二號樣式ノ一)

保安林編入申請書

今般別紙圖書ノ箇所森林法第入條第何號ニ該當致候ニ付保安林ニ編入ニ相成度調書并ニ圖而相添此段申請候也

年 月 日

何府縣何郡市何町村大字何々番地

申請者 何 某 印

縣知事宛

(第二號樣式ノ二)

保安林編入調書

所在地(林ノ字名トモ)	何府縣何郡市何町村大字何字何何番何山又ハ何林
所有者住所氏名	何府縣何郡市何町村大字何何番地何某
全 面 積	何拾何町何反何畝步
保安林編入林積	何拾何町何反何畝步
保安林地價	何拾何圓何拾何錢

縣報第七十三號

明治三十五年四月六日

第三種郵便物認可

六

現		傾 斜
地 表	土 性	平均凡何度
地表ノ概畧ヲ記スヘシ	上層ハ壤質壤土ニ壤土、砂質壤土、砂土等ニシテ砂及礫ヲ混ス深サ六寸次ハ砂質粘土層、砂層及礫層ニシテ其合計深サ二尺基岩ハ綠岩ニシテ所々ニ露出ス等土質概畧ヲ記スヘシ	
落葉朽土少ク稍乾燥ニシテ灌木及雜草疎生シ苔蘚ハ畦畔ニ少許ヲ見ルノミ等		

況						
境 界	林 木 種 類	疎 密	價 行 / 伐 期	雜 産 物	價 行 / 植 業	被 害 / 狀 況
東ハ某所有ノ無立木地ナル山林南ハ何村共有林場西及北ハ官有原野ニ接ス等 四至ノ境界ヲ記スヘシ	楡六分花柏四分等樹竹ノ種類ト其混濁割合ヲ記スヘシ 五十年乃至七十年生ヲ主トシ圓々十二三年生ノモノヲ混ス等樹竹ノ年輪ヲ記 スヘシ	疎(密中)ニシテ一町歩平均三百本日光殆シク林地ニ注射ス等樹立ノ疎密ヲ記 スヘシ	八九十年等價行ノ伐期ヲ記スヘシ	蔬菜落葉下草少許等雜産物ヲ記スヘシ	需用ヲ快チ採伐ス平均一ヶ年全面積ノ伐採量千四百尺ノニシテ空隙ニハ楡苗 ヲ補植ス等價行ノ施業ヲ記スヘシ	長樹ノ伐採過量ナルカ故ニ林相又昔日ノ觀ナク露水著シク減少シ小雨ニモ土 砂ヲ流シテ混濁ス等被害ノ狀況ヲ記スヘシ

縣報第七十三號 明治三十五年四月六日 第三種郵便物認可

編 入 ノ 事 由	關 係 區 域
水源涵養、土砂扞止、必要ノ森林ト認ム等保安林編入ノ事由ヲ記スヘシ	何村何村ニケ村ノ水田灌溉ニ影響シ其反別凡何町歩等保安林設定ニ關係ノ區 域ヲ記スヘシ

圖面 實測圖又ハ見取圖トシ第一様式ニ準シ每箇所一圖トシ申請箇所境界及附近ノ地形并
ニ其種類、地物ノ配置其他利害關係ノ概況ヲ明記スヘシ
實測圖面用紙ハ摺水引美濃紙半片、一枚及二枚繼ノ三種各壹葉ヲ以テ全紙トシ縮尺
ヲ表記スヘシ
縮尺ハ面積一町歩末滿ハ六百分ノ一、一町歩以上ハ千二百分ノ一、十町歩以上ハ三
千分ノ一、五十町歩以上ハ六百分ノ一、トスヘシ面積過大ニシハ美濃紙二枚以上ヲ
要スルモノナルトキハ適宜縮尺ヲ定ムヘシ

(第三號様式ノ一)

保安林解除申請書

今般別紙調書ノ箇所何々ノ事由(編入ノ原因消滅若クハ公益上特別ノ事由生シタル詳細ノ理由)ニ依リ保安林ヲ解除相成度此以申請候也

何何府縣何何市何何町大字何々番地

年 月 日

申請書 何

某印

縣知事宛

縣報第七十三號 明治三十五年四月六日 第三種郵便物認可

(第三號様式ノ二)

保安林解除調書

所在地 (林ノ字 名トモ)	第二號様式ノ例ニ依リ記載スヘシ	
	所有者住所氏名	全 上
全 面 積	全 上	
保安林面積	全 上	
保安林解除面積	全 上	
保安林種類	土砂扞止林、潮害防備林、等保安林設定ノ種類ヲ記スヘシ	
現 況	傾 斜	第二號様式ノ例ニ依リ現在ノ狀況ヲ記スヘシ
	土 性	全 上
地 表	全 上	
境 界	全 上	
林木種	全 上	

林	全	上
疎	全	上
密	全	上
關係區域	全	上

解除ノ事由
 某社鐵道線路ニ供用ヲ要スル等公益上特別ノ事由又ハ編入ノ原因消滅ノ事由
 ナ肥スヘシ

圖面 第二號樣式圖面ノ例ニ依リ圖製シ解除箇所ノ實測圖ヲ添付スヘシ

縣報第七十三號 明治三十五年四月六日 第三種郵便物認可 九

(第四號樣式ノ一)

保安林内土石(切芝、下草、落葉)採取願

今般何々ノ爲メ(採取ヲ爲ス事)何年何月ヨリ何年何月迄何箇月間保安林内ニ於テ土石(切芝、下草、落葉)採取致度候間御許可相成度別紙作業書及圖面相添此致相願候也

年 月 日

何府縣何郡市何町村大字何々番地

採取者 何 某印

何々(全上)

所有者 何 某印

縣知事宛

(第四號樣式ノ二)

保安林内土石(切芝、下草、落葉)採取作樂書

所在地
(林ノ字
名トモ)

第二號樣式ノ例ニ依リ記載スヘシ

保安林種類

第三號樣式ノ例ニ依リ記載スヘシ

保安林面積
全 上

現

傾 斜 第一號樣式ノ例ニ依リ記載スヘシ

土 性 全 上

境 界 全 上

河川、湖池
其他水鏡及
露谷ノ距離

全 上

林 木 種 全 上

林 齡 全 上

疎 密 全 上

况

縣報第七十三號 明治三十五年四月六日 第三種郵便物認可

採取物種類	石灰石、陶土、切芝、下草、落葉等目的物ノ種類ヲ記スヘシ
採取區域	何町何反何畝何歩
採取面積	何反何畝何歩又ハ何坪
採取數量	何坪何分、何實等採取セントスル數量又ハ容積ヲ記スヘシ
採取方法	幅一尺以内長何間ヲ何箇所ニ於テ採取シ每個所ノ最小距離何尺以上トス一切芝ノ例(等)採取ノ方法ヲ詳記スヘシ
採取跡地施業方法	何割何分ノ勾配ニ地盤ヲ引均シ何々苗ヲ栽植ス等採取跡地施業ヲ爲セントスルトキハ其方法ヲ記スヘシ保安ヲ害セサル理由採取スルモ保安上危害ヲ及ボサル理由ヲ記スヘシ
保安ヲ害セサル理由	採取スルモ保安上危害ヲ及ボセサル理由ヲ記スヘシ

圖面 第一號樣式ニ準シ圖製シ採取箇所ヲ明記スヘシ

(第五號樣式ノ一)

保安林内根株採掘願

今般何々ノ爲メ(採掘ヲ爲ス事)何年何月ヨリ何年何月迄何箇月間保安林内ニ於テ樹(竹)根
採掘致度候間御許可相成度別紙作業書及圖面相添此段相願候也

年 月 日

何府縣何那市何町村大字何何番地

作業者

何

某印

何々(同上)

所有者

何

某印

縣知事宛

縣報第七十三號

明治三十五年四月六日

第三種郵便物認可

十一

(第五號樣式ノ二)

保安林内根株採掘作業書

所在地(林ノ字
名トモ)

第二號樣式ノ例ニ依リ記載スヘシ

保安林種類

第三號樣式ノ例ニ依リ記載スヘシ

保安林面積

全 上

現

傾 斜

第一號樣式ノ例ニ依リ記載スヘシ

土 性

全 上

境 界

全 上

河川、湖池
其他水流及
谷ノ距離

全 上

林木種

全 上

林 輪

全 上

疎 密

全 上

採掘物種類

松樹根(竹根)等採掘セントスル樹竹根ノ種類ヲ記スヘシ

探掘區域	何町何反何畝何歩
探掘面積	何坪
探掘數量	何株、何個、又ハ何貫
探掘跡地施業方法	第四號様式ノ例ニ依リ記載スヘシ
保安ヲ害セザル由	同上
圖面	第一號様式ニ準テ開闢シ探掘箇所又ハ探掘物ノ在点ヲ明記スヘシ

附録第七十三號

明治三十五年四月六日

第三種郵便物認可

十二

第六號様式ノ一

保安林内午(馬)放牧願

今般保安林内ニ於テ何年何月ヨリ何年何月迄何箇月間午(馬)放牧を度候ニ付御許可相成段別紙作業書及圖面ヲ添此段相願候也

年 月、日

何府縣何郡市何町村大字何々番地

放牧者 何 某印

例々(同上)

所有者 何 某印

照知事宛

第六號樣式ノ二

保安林内放牧作業書

所在地 (林ノ字 名トモ)	第一號樣式ノ例ニ依リ記載スヘシ	
	第二號樣式ノ例ニ依リ記載スヘシ	
保安林種類	第三號樣式ノ例ニ依リ記載スヘシ	
	保安林面積全 上	
現況	傾斜 第一號樣式ノ例ニ依リ記載スヘシ	
	土性全 上	境界全 上
林木種	全 上	
	全 上	
疎密	全 上	
	全 上	
放牧畜種及員數	牛何頭(馬何頭)	

縣報第七十三號 明治三十五年四月六日 第三種郵便物認可 十三

放牧區域	何町何反何畝何歩
放牧方法	放牧區域ノ周圍ニ木柵(又ハ竹垣)ヲ設ケ牛(馬)ノ區域外ニ逸出スルヲ防ク等 放牧ノ方法ヲ詳記スヘシ
保安ヲ害セザル 由	第四號樣式ノ例ニ依リ記載スヘシ

圖面 第一號樣式ニ準テ開製シ放牧ノ區域ヲ明記スヘシ

(第七號様式ノ一)

保安林伐採願

今般何々ノ爲メ(伐採ヲ爲ス事)何年何月〇日何年何月迄何箇月間保安林ニ於テ擇伐(手入)被寄木、危險木、伐採(由ラ記スヘシ)甚度候付御許可相成度別紙施業書并ニ圖面相添此段相願候也(間伐)木、支障木

年 月 日

何郡市何町村大字何番地

(作業者)

何

某印

縣知事宛

(第七號様式ノ二)

保安林伐採施業書

所在地(林ノ字名トモ)

第二號様式ノ例ニ依リ記載スヘシ

保安林ノ種類

第三號様式ノ例ニ依リ記載スヘシ

輪伐輪

施業法要領ノ輪伐輪ヲ記スヘシ(施業法要領通達ニ至ラサル間ハ本欄へ省)畧スルコトヲ得

縣報第七十三號

明治三十五年四月六日

第三種郵便物認可

十四

現

保安林面積	第三號様式ノ例ニ依リ記載スヘシ
立木地面積	第一號様式ノ例ニ依リ記載スヘシ
傾斜	全上
土性	全上
境界	全上

業 施				況			
伐採種類 及員數	擇伐材積	擇伐區域	擇伐面積 (伐採)面積	材積	疎密	林齡	林木種
點狀擇伐、列狀擇伐、群狀擇伐、手入間伐、被害木伐採、危險木伐採、支障木伐採等ノ別ヲ記スヘシ	何町何反何畝何歩	何反何畝何歩但何箇所ニ分割シ(箇所平均面積)畝何歩	何反何畝何歩但何箇所ニ分割シ(箇所平均面積)畝何歩	何(每町)何尺(面積、一町歩以上ノモノハ每町平均尺、一丁歩) (總)何尺(未滿ハ總尺ノヲ樹種毎ニ區別シ即載スヘシ)	全上	全上	全上
樹種毎ニ區別シ擇伐尺ノヲ記スヘシ	樹種毎ニ區別シ擇伐尺ノヲ記スヘシ	樹種毎ニ區別シ擇伐尺ノヲ記スヘシ	樹種毎ニ區別シ擇伐尺ノヲ記スヘシ				
檢何年何本、杉何年乃至何年何本等伐採セントスル樹種年輪別本數ヲ記スヘシ	檢何年何本、杉何年乃至何年何本等伐採セントスル樹種年輪別本數ヲ記スヘシ	檢何年何本、杉何年乃至何年何本等伐採セントスル樹種年輪別本數ヲ記スヘシ	檢何年何本、杉何年乃至何年何本等伐採セントスル樹種年輪別本數ヲ記スヘシ				
擇伐ニアリテハ伐採及伐採跡地施業ノ方法、手入間伐ニアリテハ何々ノ成育ヲ圖ラシカ爲メ何坪凡何本ヲ殘シ等手入伐ノ方法、被害木伐採ニアリテハ何	擇伐ニアリテハ伐採及伐採跡地施業ノ方法、手入間伐ニアリテハ何々ノ成育ヲ圖ラシカ爲メ何坪凡何本ヲ殘シ等手入伐ノ方法、被害木伐採ニアリテハ何	擇伐ニアリテハ伐採及伐採跡地施業ノ方法、手入間伐ニアリテハ何々ノ成育ヲ圖ラシカ爲メ何坪凡何本ヲ殘シ等手入伐ノ方法、被害木伐採ニアリテハ何	擇伐ニアリテハ伐採及伐採跡地施業ノ方法、手入間伐ニアリテハ何々ノ成育ヲ圖ラシカ爲メ何坪凡何本ヲ殘シ等手入伐ノ方法、被害木伐採ニアリテハ何				

縣報第七十三號 明治三十五年四月六日 第三種郵便物認可 十五

領	備考
<p>施業ノ方法</p> <p>々ノ爲メ立枯(損)木目通何寸乃至何寸ノモノ何本ヲ伐採シ跡地ニ何箇ヲ栽植スル等ノ方法、危險木伐採ニアリテハ何々ニ危險ノタメ目通何寸乃至何寸ノモノ何本ヲ伐採、支障木伐採ニアリテハ何々ニ支障ノ爲メ目通何寸乃至何寸ノモノ何本伐採及跡地施業ノ方法ヲ記スヘシ</p> <p>第四號様式ノ例ニ依リ記載スヘシ</p>	<p>保安ヲ密セザル由</p> <p>備考</p> <p>擇伐ニ在リテハ施業要領ノ部ハ伐採種類擇伐區域擇伐面積擇伐材積施業ノ方法ノ五項ヲ記シ其他ノ伐採ニアリテハ伐採種類伐採面積伐採樹種及員數、施業ノ方法ノ四項ヲ記スヘシ</p> <p>中林擇伐ノ場合ハ伐採面積ニ喬林、矮林ノ内譯ヲナスヘシ</p> <p>圖面第一號様式ニ準シ圖製シ伐採箇所ヲ明記スヘシ</p>

(第八號様式ノ一)

保安林施業許可願

今般明治何年以後十箇年間保安林施業差別紙ノ編成致度候付御許可相成度此段相願候也

月 年 日

何府縣何郡市何町村大字何々番地

所有者 何 某 印

縣知事宛

林施業案

(第八號樣式ノ二)

何府縣何國何郡市何町村大字何字何

自何番至何番自何番至何番自何番至何番何番何番所

保安林施業案

明治何年何月何日編成

何府縣何國何郡市何町村大字何何番地

森林所有者

何

某

本簿係以第十號法律及保安林法之規定編成其詳見於本簿之序言

保安林臺帳番號	村 (町)	大字	字	擇伐種類	林地		林木			將來伐採	
					面積町	摘要	樹種及混濁割合	疎密度	摘要		林齡
10	何々	何々	何々	點狀	35 0 0	方位 西北 傾斜 急 土性 壤土 地表 落葉及朽土 境界 多シ南ハ何々國有 林=速リ東ハ谷 耕地西北ハ共有 テ隔テ、其 疎=界ス	ヒバ 0.2 ウラジロ 0.3 モミ 0.5	中	1 ヒバ 幼木散生 天然發生苗多 ウラジロモミ老幼木 散生及ハ新生ス ブナ其他雜老木 散生	ウラジロ 雜 200 7,000 50 17,500 160 5,600	混濁喬林 群生ウラジロ ハ老木ノヨ伐 生ウラジロモ 悉皆伐採 老大木ノミ チナス。
					5 0 0	同上			未立木地		
				計	40 0 0					30,100	
			十年間	全面積40 回歸年4 擇伐區域	10 0 0						
				列狀	40 0 0	傾斜 平 土性 砂土 地表 落葉少 境界 南ハ海岸他三 面ハ耕地	クロマツ 密	生長強盛	40	80 32,000	(潮害防備林 常風ノ方向ニ =幅三間ツツ 狀ニ伐採ス但 所ハ三區所以 分配ス 部控伐種地ニ 近新テ了シタル ラサレハ控地ヲ セザルモトス
					10 0 0	同上			未立木地處ケニ 天然發生苗アリ		
				計	50 0 0					32,000	
			十年間	全面積50 回歸年2 擇伐區域	25 0 0						

伐採豫定				備考
自明治三十五年 至明治四十四年		明治四十 四年以後		
擇伐區域 町	擇伐面積 町	擇伐材積 尺	擇伐區域 町	備考
10 0 0	3 3 3	10,033	25 0 0	
			5 0 0	
10 0 0	3 3 3	10,033	30 0 0	
1 0 0	0 3 3	1,003		
年二十年 後三箇年內 下種ノ模倣 ヲ補植及手 入ス	輪伐 齡 六十年			
25 0 0	8 8 8	6,664	15 0 0	
25 0 0	8 8 8	6,664	15 0 0	
1 0 0	0 8 8	666		

保安林臺帳番號	村 (町)	大字	字	擇伐種類	林地		林木			將來伐採			
					面積町	摘要	樹種及混濁割合	疎密度	摘要		林齡	材積	
												毎町尺	總尺
10	何々	何々	何々	點狀	35 0 0	方位 西北 傾斜 急 土性 壤質壤土 地表 落葉及朽土多シ 境界 南ハ何々園有林ニ通リ東ハ谷ヲ隔テ北ハ共有林ニ接ス	ヒヤ 0.2 ウラジロ 0.3 プナ其他 0.5	中	1 ヒヤ プナ ウラジロ	200 7,000 50 17,500 160 5,600	混濁森林 群生ウラジロハ老木ノミ伐生ウラジロモ悉皆伐採アテ老木ノミ採アナス	未立木地	
				計	40 0 0	同上				70,100			
			十年間	全面積40 回歸年4 擇伐區域	10 0 0								
				列狀	40 0 0	傾斜 平 土性 砂土 地表 落葉少シ 境界 南ハ海岸地ニ接ス	クロマツ 密 生長強盛	40	80	32,000	(酒害防備林 常風ノ方向ニ 幅三間クマ 狀ニ伐採ス但 所ハ三箇所以 分配ス 距離伐採地ニ十 区新テ了シタル後 フサレハ採地ヲ セザルモノトス	未立木地處々ニ天然發生苗アリ	
				計	50 0 0	同上				32,000			
			十年間	全面積50 回歸年2 擇伐區域	25 0 0								

伐採豫定					備考
自明治三十五年 至明治四十四年			明治四十 四年以後		
擇伐區域 町	擇伐面積 町	擇伐材積 尺	擇伐區域 町		
原田(養林) ハ地表ヲ掻 草等ヲ取 然下種ヲ助	10 0 0	3 3 3	10,033	25 0 0	最初十年ノ擇伐 區域ハ本林ノ西北 端ヨリ經過シテ マアトス
苗年間ニヒ ス				5 0 0	
	10 0 0	3 3 3	10,033	30 0 0	
1 10	1 0 0	0 3 3	1,003		
年二十年 及三箇年内 下種ノ模倣 リ補植及手 成ス	25 0 0	8 3 3	6,664	15 0 0	
	25 0 0	8 3 3	6,664	15 0 0	
1 10	2 5 0	0 8 3	606		

保安林施行案說明

- 一 査帳番欄ニハ保安林査帳ノ番號ヲ記載スヘシ
- 二 擇伐種類欄ニハ保安林取扱心得第十二條ニ依リ選定シタル伐採法ヲ記載スヘシ
- 三 面積欄ニハ立木地末立木地及除地ニ區別シテ記載スヘシ除地トハ道路河川岩石不毛地等ニシテ樹木ヲ仕立ツルコト能ハサル土地ヲ云フ
- 四 林地摘要欄ニハ編入調書ニ依リ方位、傾斜、土性、地表、境界等ヲ簡明ニ記載スヘシ
- 五 樹種及混濁部合欄ニハ樹名ハ片假名ニテ記載シ混濁部合ハ十分率ヲ以テ記載スヘシ
- 六 疎密度欄ハ疎、中、密ノ三級ニ區分シ林齡ニ應ジテ相當ノ閉鎖度ヲ想定シテ調査記載スヘシ
- 七 材木摘要欄ニハ林相ノ模様ヲ簡明ニ記載スヘシ
- 八 林齡欄ニハ老幼ノ差並シキモノハ其樹齡ノ範圍ヲ記載シ其差甚シカラサルモノハ平均林齡ヲ記載スヘシ
- 九 材積欄總ノ部ニハ一町歩ニ對スル材積ニ立木地面積ヲ乘シタルモノヲ記載スヘシ
- 十 將來施行要畧伐採ノ部ニハ擇伐ノ方法ヲ記載シ造林ノ部ニハ更新ノ方法ヲ記載スヘシ
- 十一 伐採豫定欄最初十年間擇伐區域ノ部ニハ回歸年(回歸年ハ輪伐齡ノ整分トナスヘシ)ヲ以テ全面積(除地ヲ省ク)ヲ除シタル商ノ十倍面積ヲ掲クヘシ例ヘハ回歸年四十年ニシテ全面積八十町歩ナレハ $80 \div 2 \times 10 = 80$ ナルカ如シ
- 同欄擇伐面積ノ部ニハ擇伐區域ノ三分ノ一、四分ノ一等ニ相當スル面積ヲ掲クヘシ例ヘ

縣報第七十三號

明治三十五年四月六日

第三種郵便物認可

十八

- ハ 回歸年カ輪伐齡ノ三分ノ一ナレハ區域ノ三分ノ一四分ノ一ナレハ區域ノ四分ノ一面積ヲ掲クルカ如シ
- 同欄材積ノ部ニハ擇伐面積ニ相當スル材積ヲ掲クヘシ
- 同欄十年以後擇伐區域ノ部ニハ全面積ヨリ十年間擇伐區域面積ヲ減シタル殘數ヲ記載スヘシ
- 十二 備考欄ニハ擇伐區域ノ伐採順序等ヲ記載スヘシ
- 十三 計線ノ下ニハ面積及材積ノ計ヲ記シ面積計ノ次ニハ回歸年ヲ以テ全面積ヲ除シタル商及之カ十倍面積ヲ掲ケ前十年間伐採豫定計ノ下ニハ其十分ノ一額ヲ記載スヘシ

(第九號様式)

記號印章届

族籍 何府縣士族(平民)
住所 何郡市何町村大字何番地

何

某

一營業ノ種類

何業

一營業地

何郡市何町村大字何番地

一作業地

何郡市何町村大字何番地

右營業上林産物ニ使用スル號記及印章別紙ノ通ニ候間此段及御届候也

年月日

右

何

某

印

何警察署長(分署長)宛

縣報第七十三號 明治三十五年四月六日 第三種郵便物認可 十九

○和歌山縣令第四十二號

麻疹及流行性感胃患者届出規程左ノ通り相定メ明治三十五年四月十五日ヨリ施行ス

明治三十五年四月一日

和歌山縣知事 椿 襄 一 郎

麻疹及流行性感胃患者届出規程

第一條 醫師麻疹、流行性感胃（インフルエンザ）ニ罹リタル患者ヲ診斷シ若クハ其死体ヲ檢按シタルトキハ三日以内ニ左ノ事項ヲ具シ患者所在地ノ市町村長ニ届出ツヘシ其轉歸ノ適合亦全シ

一、病名

二 患者ノ住所、職業、身分、氏名、年齢

三 發病ノ月日

四 診斷、檢按、轉歸、ノ月日

第二條 罹病中受療ヲ中止シ轉歸不明ナルトキハ中止後十日以内ニ其旨届出ツヘシ

第三條 本令第一條第二條ニ違背シタルモノハ科料ニ處ス

○和歌山縣令第四十三號

明治三十四年十一月本縣令第百二號炭疽傳染防區域中へ左ノ通り追加ス

本令ハ發布ノ日ヨリ施行ス

明治三十五年四月二日

和歌山縣知事 橋 葉一 耶

海草郡川永村大字川邊

東 小栗街道以西

西 岡本米吉小道以東

南 藤本芳雄小道以北

北 大阪街道以南



○和歌山縣訓令甲第十八號

那 役 所
 警 察 署
 全 分 署
 市 役 所
 町 村 役 備

清國上海ニ於テ目下悪性猩紅熱流行シ益蔓延ノ兆アルヲ以テ何時該病毒ノ侵襲スル哉モ量
 リ難ク今回其筋ヨリ訓令ノ次第モ有之候條自今該病ニ對シテハ豫防法ニ依リ取扱テ爲スハ
 勿論尙左記事項相心得豫防上遺策ナキナ期ス可シ

明治三十五年四月一日

和歌山縣知事 梅 蒸 一 郎

- 一 猩紅熱患者發見シタルトキハ速ニ之ヲ傳染病院又ハ隔離病舎ニ收容スルコト
- 二 患者ノ用キタル衣服、寢具、器具、患者ノ居リタル室内其他病毒ニ汚染シタル疑アルモ
 ノハ嚴重ニ消毒ヲ行フコト
- 三 患者又ハ死体アル間及患者ヲ入院若クハ入舎セシメ又ハ患者治療若クハ死亡シタル後消
 毒方法ノ施行ヲ了シタル時ヨリ十日間患者家族ノ健康ニ注意スルコト
- 四 發疹、熱等ノ症候消散スルモ發疹部ノ痂皮全ク剝離シ終ルニアラサレハ全治ト認ムヘカ
 ラサルコト
- 五 猩紅熱ハ麻疹ト誤診シ易ク又實布徑里亞ノ如キ症狀ニテ發スルコトアルヲ以テ疑ハシ

縣報第七十三號

明治三十五年四月六日 第三種郵便物認可

廿二

キ患者ニ對シテハ診斷上特ニ注意セシムルコト

○和歌山縣告示第八十五號

縣下海草郡川永村大字川邊木村得次郎飼牛一頭本月一日炭疽に罹り斃死セリ

明治三十五年四月二日

和歌山縣知事 椿 基 一 郎

○和歌山縣告示第八十六號

明治三十四年度和歌山縣歲入歳出豫算中縣參事會ノ議決ヲ經左ノ題ヲ更正ス

明治三十五年三月三十一日

和歌山縣知事 椿 基 一 郎

明治三十四年度和歌山縣歲入歳出中更正豫算

歳 入

臨時部

第二項 國庫補助金

既定金五千參拾七圓參拾五錢
更正金四千七百四拾七圓參拾五錢

第二項

傳染病豫防費補助金

既定金四千貳百四拾八圓拾貳錢五厘
更正金參千九百五拾八圓拾貳錢五厘

但郡市收入

歳 出

經常部

第四款 土 木 費

既定金拾貳萬貳千貳百六拾四圓五拾六錢八厘
更正金拾壹萬五百五圓六拾壹錢七厘

縣報第七十三號

明治三十五年四月六日

第三種郵便物認可

廿三

第一項 道路橋梁費

既定金五萬六千七百七拾五圓五拾九錢九厘
更正金四萬九千九百拾壹圓四拾壹錢七厘

第二項 治水堤防費

既定金五萬七千貳百貳拾貳圓四拾六錢四厘
更正金四萬七千九百七圓七拾錢壹厘

第三項 港 灣 費

既定金八千七百貳拾貳圓拾錢九厘
更正金八千九拾圓六拾貳錢七厘

第四項 測 量 費

既定金千百拾七圓五拾八錢
更正金千貳圓四拾七錢六厘

第五項 雜 費

既定金四千五百貳拾六圓八拾壹錢六厘
更正金四千參百九拾參圓參拾九錢六厘

第九款 郡廳舍修繕費

既定金七百七拾六圓拾五錢
更正金七百四圓貳拾錢

第一項 修 繕 費

既定金七百七拾六圓拾五錢
更正金七百四圓貳拾錢

第十八款 縣吏員費

既定金貳萬六千五百五拾七圓貳拾錢
更正金貳萬百七拾六圓七拾錢

第一項 吏 員 費

既定金貳萬六千五百五拾七圓貳拾錢
更正金貳萬百七拾六圓七拾錢

臨時部

第一款 土 木 費

既定金拾參萬參千參拾圓參拾七錢八厘
更正金拾貳萬五千參百八圓貳拾九錢四厘

第一項 道路橋梁 既定金四萬參千六百拾參圓五拾參錢 更正金參萬八千七百六拾七圓九拾參錢

第二項 治水堤防費 既定金八萬參千拾四圓七拾錢七厘 更正金八萬貳千七百拾四圓七拾錢七厘

第三項 港灣費 既定金九百六拾貳圓九拾六錢六厘 更正金五百五拾九圓貳拾九錢九厘

第四項 測量費 既定金千九百七拾七圓四拾九錢六厘 更正金千八百七拾貳圓九拾九錢九厘

第五項 雜費 既定金千四百六拾壹圓六拾七錢九厘 更正金千參百九拾參圓七拾六錢五厘

第二款 市町村土木補助費 既定金參萬八千九百四拾拾圓九拾七錢 更正金參萬五千五百貳拾貳圓九拾六錢

第一款 道路橋梁河川費補助 既定金參萬八千九百四拾參圓九拾七錢 更正金參萬五千五百貳拾貳圓九拾六錢

第三款 傳染病豫防補助費 既定金壹萬四千七百四拾圓參拾壹錢 更正金壹萬參千圓參拾壹錢

第一款 市町村補助費 既定金壹萬四千七百四拾圓參拾壹錢 更正金壹萬參千圓參拾壹錢

○和歌山縣告示第八十七號
 明治三十五年度和歌山縣歲入歲出追加豫算縣參事會ノ議決ヲ經左ノ通定
 明治三十五年三月三十一日
 和歌山縣知事 椿 葉一 耶

縣報第七十三號 明治三十五年四月六日 第三種郵便物認可 廿四

明治三十五年度和歌山縣歲入歲出追加豫算

歲入

臨時部

第一款 繰越金 金貳萬八千九百四圓四拾九錢五厘 但郡市收入

第一項 前年度繰越金 金貳萬八千九百四圓四拾九錢五厘 但郡市收入

第二款 國庫補助金 金貳百九拾圓 但郡市收入

第二項 傳染病豫防費補助金 金貳百九拾圓 但郡市收入

歲出

經常部

第四款 土木費 金壹萬千七百五拾八圓九拾五錢壹厘

符一項 道路橋梁費 金千五百六拾四圓拾八錢貳厘

第二項 治水堤防費 金九千參百拾四圓七拾六錢參厘

第三項 港灣費 金六百參拾壹圓四拾八錢貳厘

第四項 測量費 金百拾五圓拾錢四厘
 第五項 雜費 金百參拾參圓四拾貳錢
 第九款 部廳舍修繕費 金七拾壹圓九拾五錢
 第一項 修繕費 金七拾壹圓九拾五錢
 第十七款 縣吏員費 金四百八拾圓五拾錢
 第一 吏員費 四百八拾圓五拾錢
 經常部計壹萬貳千參百拾壹圓四拾錢壹厘

臨時部

第二款 土木費 金七千七百貳拾貳圓八錢四厘
 第一項 道路橋梁費 金四千八百四拾六圓
 第二項 治水堤防費 金參百圓
 第三項 港灣費 金貳千四百參圓六拾七錢參厘
 第四項 測量費 金百四圓四拾九錢七厘
 第五項 雜費 金六拾七圓九拾壹錢四厘
 第三款 市町村土木補助費 金七千四百貳拾壹圓壹錢
 第一項 道路橋梁河川費補助 金七千四百貳拾壹圓壹錢
 第五款 傳染病豫防補助費 金千七百四拾圓

縣報第七十三號 明治三十五年四月六日 第三種郵便物認可 廿五

第一項 市町村費補助 金千七百四拾圓
 臨時部合計金壹萬六千八百八拾參圓九錢四厘
 歲出總計貳萬九千九百九拾四圓四拾九錢五厘

明治三十五年度和歌山縣歲入歲出追加豫算

歲入

臨時部 金貳千六百四拾八圓四拾參錢九厘
 第一款 繰越金 但郡市收入
 第一項 前年度繰越金 金貳千六百四拾八圓四拾參錢九厘
 歲出 但郡市收入
 經常部
 第四款 土木費 金貳千六百四拾八圓四拾參錢九厘
 第一項 道路橋梁費 金貳千六百四拾八圓四拾參錢九厘

○觀測

明治三十五年四月二日當地氣象概況

七百六十一耗九

十三度七

十五度六

十一度九

北

一米四

雨

十二耗二

午前九時五十二分海上不穩ノ警戒掛ル

午前五時二十分ヨリ雨降ヲ始メ終日降續

午後四時二十六分、三十秒極微ノ地震アリタリ

縣報第七十三號

明治三十五年四月六日

第三種郵便物認可

廿六

平均氣壓 七百五十八耗六
 平均氣温 十二度、〇
 最高氣温 十三度八
 最低氣温 八度五
 最多風向 西
 平均風力 六米
 晴天 〇、〇
 雨量 前日ヨリ雨降續シ午前〇時二十分止
 事量 午前九時五十分海上不穩ノ警戒ヲ解ク

明治三十五年四月三日當地氣象概況

七百五十八耗六

十二度、〇

十三度八

八度五

西

六米

晴

〇、〇

前日ヨリ雨降續シ午前〇時二十分止
 午前九時五十分海上不穩ノ警戒ヲ解ク

(毎月三日六日九日十二日十五日十八日二十一日二十四日二十七日三十日發行)

明治三十五年四月二日印刷
 明治三十五年四月三日發行

〔金巻版〕

和歌山縣

印刷所

和歌山縣十二番丁十三番地
 中村幾之助
 和歌山縣報社印刷部